

受賞おめでとう
ございます

千葉県社会教育功勞表彰



社会教育委員会議副議長
向後 雅生 氏
(作 間 内)

永年にわたる社会教育活動の功績により、11月17日千葉県社会教育委員連絡協議会から表彰されました。

千葉県体育指導委員功勞者表彰



体育指導委員
越川 爽 氏
(橋 場)

永年のスポーツ振興に貢献された功績が認められ、12月3日千葉県体育指導委員連合会から表彰されました。

今年 は 巳 年

蛇は悪者？ 神？

日本の神話に登場する蛇はヤマタノオロチ（八岐大蛇）といって、頭が8つ尾が8つ、体の長さは8つの谷を越えるほどだったといわれています。そのオロチが娘を食いにかけて、スサノオノミコトという神に退治されたという話です。

一方、蛇は神格化され、聖書や神話にもしばしば登場します。また、水の神として信仰されたり、家の守り神として家に住みつくるのを喜んだりする例もあります。

蛇の絵に足を 書きたす

蛇は、古くから人間とかわりが多い動物だけに、蛇に関する故事やことわざもいろいろあります。

「蛇足」。これはよく知られている言葉で日常会話にも使われていますが、こんな由来があります。昔、楚の国の役人が、蛇の絵を一番早く書いた者が酒を飲むことができるといって競争をしました。一人がいち早く完成したのにもかかわらず、時間に余裕があったので足を書き加えてしまったという、負けてしまったという

話です。

そのことから、あっても意味のないもの、余計なことという意味に使われています。

「蛇の道はへび」もよく聞くことわざです。「じゃ」といい「へび」といっても、呼び方が違うだけで同じもの。同じ仲間のやったことならすぐに分かるという意味です。

「藪蛇」「藪をつついて蛇を出す」。しなくてもよいことをして、かえってよくない結果になることです。

心豊かに 暮らせる年に

「蛇穴を出づ」という言葉もあります。冬眠していた蛇が、春暖になつて地上に出てくることをいいます。

21世紀の始まりの今年 は巳年。低迷していた景気から脱出して春を迎え、みんなが安心して心豊かに暮らせる年にしたいものです。

